



瀬谷 ふるさと歴史 さんぽ道

瀬谷区



由緒ある史跡と、
豊かな自然が
ぎゅーりと詰まった
瀬谷のさんぽ道。

▲花に彩られた海軍道路

◎長天寺 ちようてんじ



創 建は室町時代永承元年(1394)。ダルマ大師の御神体が祀られており、ダルマ大師の石仏に加え、江戸時代に建てられた養蚕神を祀っていたお堂があります。明治22年(1889)、瀬谷、二ツ橋、宮沢の3村合併によりできた瀬谷村の初の村役場がこの長天寺の客殿に置かれました。

◎諏訪社 すわしや



神 社起源は不明。源頼朝が治承4年(1180)8月石橋山の合戦で敗れ、房総に逃れた後再起を図り、兵力を集め10月6日鎌倉入りする前夜の社に一泊したといわれています。境内には市名木古木指定の樹齢約290年のケヤキ2本があります。

◎武相国境 ぶさうこくまう 野境道



相 模国と武蔵国の国境を通ることから野境道と呼ばれています。五貫目から中丸山、瀬谷市民の森、阿久和を通り金沢区へ通じる尾根道で、古道であったといわれています。四季を通じて美しい景観のプロムナードで、桜並木が市民に親しまれています。

◎宮沢ふれあいの水辺



イ ロハモミジを中心とした、秋の彩りをイメージした水辺です。区民の皆さんと協働で整備内容や愛称を検討し、平成25年3月に完成しました。和泉川中流にある「宮沢ふれあい樹林」には、散策路が整備されており、森林浴等が楽しめます。

◎宮沢六道の辻 みやざくろくどうのつじ



六 本の道が放射状に延びた場所ので、坂東三十三観音札所の星の谷観音と弘明寺観音を結ぶ道の分岐点となっています。六道とは仏教でいう「地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人間道・天道」のことで、その別れ道を六道の辻といえます。地藏菩薩が六道からの救済を行うと考えられています。

◎二ツ橋地名由来の碑



石 碑に刻まれた徳川家康が詠んだといわれる和歌「慶長18年(1613)「ししみみと清き流れの清水川かけ渡したる二ツ橋かな」や石橋供養塔(安政3年(1856))等が二ツ橋地名の由来といわれています。八王子往来と神奈川往来の分岐点を示す道標もあります。

◎お墓山 おほかやま



江 戸時代の旗本阿久和領主の安藤家墓所であることから、「お墓山」と呼ばれています。三代領主正珍や四代領主正程の墓、初代領主正次の頌徳碑などがあります。正次の頌徳碑には、「正次は大坂夏の陣で深手を負い、大阪平野の宿舎願正寺で自刃した」とあります。

◎熊野神社 くまのじんじや



平 安時代この一帯の森は神聖な場所とされ、南北朝時代に社を建てたのが前身と伝えられます。江戸時代阿久和の領主安藤家が保護し繁栄、現在の社殿は明治6年(1873)の建立で数々の彫刻で飾られています。毎年9月19日の祭礼で、神職による湯立神楽が行われます。

◎長屋門公園 ながやんもんこうえん



歴 史体験や自然観察ゾーンがあり、平成4年(1992)開園。明治中期に建てられた長屋門を入ると江戸時代後期の古民家があり、開拓裏、かまじ、農機具等が保存され、当時の雰囲気味わえます。自然観察ゾーンでは、湧き水と杉林、四季折々の草花が楽しめます。